

第1回 仙台市総合計画審議会議事録

日 時	平成 21 年 10 月 21 日（水） 16:30 ～ 18:05
会 場	仙台市役所 2 階 第一委員会室
出席委員	足立千佳子委員、阿部一彦委員、阿部初子委員、石川建治委員、 内田幸雄委員、大草芳江委員、大滝精一委員、大村虔一委員、 岡本あき子委員、菊地昭一委員、小松洋吉委員、佐竹久美子委員、 菅井邦明委員、鈴木勇治委員、鈴木由美委員、高野秀策委員、 西大立目祥子委員、西澤啓文委員、庭野賀津子委員、針生英一委員、 樋口稔夫委員、増田聡委員、間庭洋委員、水野紀子委員、宮原育子委員、 柳生聡子委員、柳井雅也委員、山田明之委員 [28 名]
欠席委員	江成敬次郎委員、小野田泰明委員 [2 名]
仙 台 市 （事務局）	奥山市長、瀬戸企画市民局長、佐藤企画市民局理事、 伊藤企画市民局次長、佐々木総合政策部長、折田総合計画課長、 金集総合計画課主幹、柳津総合計画課主幹
議 事	1 開会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 委員紹介 5 会長及び副会長選出 6 会長及び副会長あいさつ 7 諮問 8 議事 (1) 審議会の運営に関する事項について (2) 仙台市を取り巻く現状について (3) その他
配 付 資 料	1 仙台市総合計画審議会委員名簿 2 地方自治法第 2 条第 4 項、仙台市議会の議決事件に関する条例第 2 条及 び仙台市総合計画審議会条例 3 仙台市総合計画諮問書（写） 4 仙台市総合計画審議会の運営について（案） 5 審議会日程（案） 6 21 世紀都市・仙台－仙台市基本構想 7 仙台 21 プラン－仙台市基本計画 8 新総合計画策定に関する基礎的なデータ等 9 仙台市基本計画（仙台 21 プラン）の策定後の状況 10 平成 21 年度仙台市施策目標調査（市民アンケート）報告書 11 有識者・団体等ヒアリング結果報告書 追加資料 仙台市都市ビジョン

1 開会

○伊藤企画市民局次長

それでは定刻となりましたので、ただいまから第1回仙台市総合計画審議会を開催させていただきます。

私は、仙台市企画市民局次長の伊藤でございます。会長が決定いたしますまでの間、進行役を務めさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2 委嘱状交付

○伊藤企画市民局次長

それでは早速でございますけれども、ここで委嘱状交付式を行わせていただきます。

奥山市長より委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びいたしますので、その場でご起立の上、お受け取りいただきたいと思います。

(委嘱状交付)

○伊藤企画市民局次長

以上で、委嘱状の交付を終了いたします。

3 市長あいさつ

○伊藤企画市民局次長

それでは、開会に当たりまして市長からごあいさつを申し上げます。

○奥山市長

改めまして、こんにちは。

本日は、皆様大変お忙しい中を、このように夕刻お疲れの中をお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。本日お集まりの皆様には、大変お忙しい中こうしてこれから仙台の未来を市民こそで考えていくという、新しい総合計画の策定に向けての委員という、大変重要なお仕事をお引き受けいただきましたことを、改めて仙台市を代表して感謝申し上げたいというふうに思います。

ご承知のとおり、この総合計画というのは、仙台市におきましても恐らく戦後初めてとなります人口が減少する仙台のまちというのを基本に据えながら、しかればそのような中で私たちの暮らしはどうなるのか、どういう都市のインフラを持つようになっていくのか、また、市民は、行政は、そこでどういうふうな役割を果たしていくのがいいのか、そういったさまざまな課題を、一緒に考えながら、明日の仙台をつくり出す道筋を見つけていくという、まさに103万市民一人一人にとっての大変大切な計画になるものだというふうに私も思っているところでございます。

仙台市の長い歴史の中でのこの人口減少という側面、余り悲観的にとらえる必要はないだろうと私は思いますけれども、しかし、漫然としていたのではこれは後手後手になってしまうということもそのとおりかと思っておりますので、是非その辺についてのご審議をよろしく

お願いしたい、これが開会に当たりましての私の第1点のお願いでございますけれども、あわせまして、今日は初回でございますので、私の思いを若干述べさせていただきますと、例えば人口減少といい、少子高齢化といい、都市インフラの更新の問題といい、これは仙台市もそうでございますけれども、広く日本全体を覆っている問題でもあるということは皆様方ご承知のとおりかと思います。

したがって、そこに当たっては、例えばそれに対してこれが正しい答えだと、これが正解だというような、いわゆる試験問題的な回答があるというものではないんじゃないかと。一定の道筋というのは、多分いろんな論理的な研究や何かで出てくると思うんですが、最終的にはやはり私たち仙台市民一人一人が、しならばそういう制約の条件とか今後の課題の中で、本当にどういうまちを、どういうふるさとをここ仙台につくっていきたいのか、その気持ちをどこに焦点を持っていくのか、そのためにどういう努力を、行政はもちろん市民の皆さんも含めてやっていくという覚悟ができるのか、そういう気持ちの高まり、気持ちの深まりというものが、この計画におのずから、課題は全国共通であっても登る道としてはやはり仙台はこれだなというような、仙台ならではの独自の道筋、独自の光が見えてくる、そういったご議論の場にこの審議会がなっていただくと大変私もうれしいですし、多くの市民の方々もそのことを望んでいらっしゃるのではないかというふうに思ったりしております。

皆様方は、大変多くのお仕事のほかにもいろいろなボランティアな活動やネットワークの要にいらっしゃる方々、現場に精通していらっしゃる皆様を今回は特にお願いをしたというように私は思っております、どうぞ皆様方の多面的なご経験の中から、こうした声を届けたい、市民の人が今、心に思っていることはここではないかというようなものを、是非この委員会の中でご披瀝いただきまして、私ども行政とともに、この審議会が実り豊かな道を歩めるよう、ご尽力をお願いしたいと思います。

これから、多分、議論の期間としてはかなりタイトなスケジュールになる部分もあるかと思っておりますので、その辺のご了承をいただきたいと切に願いながら、開会に当たりましてのごあいさつとお願いとさせていただきます。これからの1年数カ月の間、本当に事務局は精いっぱい頑張らせていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。今日は本当にありがとうございます。

○伊藤企画市民局次長

続きまして、委員の皆様を紹介させていただきます。名簿順に従いましてご紹介申し上げますので、大変恐れ入ります、資料の説明もまだいたしておりませんが、資料1の委員名簿をご参照いただければと存じます。

(委員紹介)

○伊藤企画市民局次長

続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。

(事務局職員紹介)

3 会長及び副会長選出

○伊藤企画市民局次長

それではここで、会長及び副会長の選出をお願いいたしたいと存じます。

資料にお配りしておりますが、総合計画審議会条例の第4条というのがございます。その規定に基づき、会長、副会長につきましては委員の互選によって定めていただくこととなっております。

この会長と副会長の選出につきまして、いかがいたしましょうか。どなたかご推薦のある方、挙手の上ご発言をお願いしたいと思います。

○小松洋吉委員

失礼いたします、小松と申します。

前回の総合計画審議会の委員でもありました、そして多くの実績をお持ちの大村先生が会長に適任ではないかと思えます。そして、副会長には、地域間交流をテーマに大変活躍されております宮原先生が適任ではないかと思えます。

以上、推薦させていただきます。

○伊藤企画市民局次長

ありがとうございます。

ただいま小松委員から、会長につきましては大村委員、それから副会長につきましては宮原委員というご発案がございました。いかがでしょうか。

(拍手)

○伊藤企画市民局次長

それでは、大村委員に会長を、宮原委員に副会長をお引き受けいただきたいと存じます。大変恐れ入ります、よろしくお願いいたします。

では、それぞれ会長席、副会長席にお移りいただければと思います。

6 会長及び副会長あいさつ

○伊藤企画市民局次長

それでは、大変恐れ入りますが、ただいま会長に選出されました大村委員、それから、副会長に選出されました宮原委員からごあいさつを賜ればと存じます。

それでは、大村会長、よろしくお願いいたします。

○大村虔一会長

それでは、一言ごあいさつ申し上げます。

西澤前会長のもとで総合計画をつくったのは何か昨日のような気がするんであります

けれど、もうそれから 10 年たって次の計画をつくるという時期になったというのは非常に驚きでございまして、先般、事務局からどさっと送っていただきました資料の中に前回の基本構想の薄い冊子がございまして、見てみますと、今でも本当に通用するようなことがいっぱい入っております。しかし、あのときのことを考えると、こんなに人口減少社会になるということを余り実感していなかったなということを思い出しまして、その辺はやっぱり非常に大きな 10 年の間の変化だったんだろうというふうに思っております。

それから、市民がまちをつくるんだという基本理念が高らかにうたわれているんですが、具体的にどうやって市民がまちをつくるのかという実践論がまだやっぱり足りなかったかなんていう思いを、読んでつくづく考えたわけでございます。

そんな意味で、従前のいいものは生かしながら、また、新しい時代に変えていかなきゃいけないものをしっかり見据えて、皆さんと一緒に議論しながら新しい総合計画をつくってまいりたいと思いますので、是非ご協力のほどをよろしくお願いしたいと思います。気持ちといたしましては、いつも必ず皆さんから一言いただいてこの審議会を終了すると、30 人からのご意見をいただくというのはなかなか大変かもしれませんが、チャレンジしたいと思っておりますので、ひとつどうぞよろしくお願い申し上げます。

○伊藤企画市民局次長

ありがとうございました。

続きまして、宮原副会長、お願いいたします。

○宮原育子副会長

副会長を仰せつかりました宮城大学事業構想学部の宮原と申します。

平成 9 年に宮城大学ができて、ちょうど仙台市の前の仙台 21 プランができてから、平成 10 年からスタートしたと聞いておりまして、私もその中であっという間に 10 数年過ごしてまいりました。この間、仙台の変化は大変に目覚ましいものがありまして、私も暮らしながらどんどん暮らしの環境がよくなっていくのを感じるとともに、一方で、やはりこの仙台のすばらしさをいろんな方々に発信していく必要がもっともっとあるのではないかというふうに感じておりました。

人口減少社会に入った中で、やはり地域はいかに交流の人口を増やしていくかということがひとつ大きな課題になるかと思います。仙台市はずっと東北の交流の要としていろいろな活動をされてきているわけで、これをもっともっと上手に活用しながら、市民の皆さんと一緒にすばらしい仙台ができるような形で活動ができればいいなと思っております。

会長それから委員の皆さんとともに、一緒に新しい仙台の計画をつくることに働いていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(拍手)

○伊藤企画市民局次長

大村会長、宮原副会長、どうもありがとうございました。

7 諮問

○伊藤企画市民局次長

それでは、ここで仙台市総合計画の策定につきまして、市長から諮問をさせていただきたいと存じます。

市長、よろしくお願いいたします。

(奥山市長から大村会長へ諮問)

○伊藤企画市民局次長

ここで、市長は所用のため退席させていただきたいと存じます。大変恐れ入りますが、よろしくお願いいたします。

○奥山市長

大変申し訳ありません。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

8 議事

(1) 会議運営に関する事項について

ア 仙台市総合計画審議会の運営について

○伊藤企画市民局次長

それでは、早速でございますけれども、本日の議事に入らせていただきます。

まず、資料の確認をさせていただきたいと存じます。

先ほど大村会長からもお話がございましたけれども、事前に資料をお送りさせていただいております。それと同じものを本日テーブルに用意させていただきました。それに加えて、追加資料として仙台市都市ビジョン、これは概要版と本編とございますが、それを置かせていただいております。資料が膨大ですので、毎回お持ち帰りいただくのは大変かと存じますので、このような形で用意させていただいております。ただ、メモとかを書かれてお持ち帰りになるという場合はそれはそれで結構でございますけれども、よろしくお願いいたします。

それから封筒を2つ用意させていただいております。ひとつの封筒は、ご自宅用の仙台市都市ビジョンが入っておりますので、それはお持ち帰りいただきたいと思います。

資料はよろしいでしょうか。

それでは、条例の定めによりまして、会長が議長となることになってございます。それでは、ここからは大村会長、よろしくお願いいたします。

○大村虔一会長

それでは、議事に入ります。

本日の次第によれば、議事はその他を含めて3項目でございます。

それでは、まず1番目、審議会の運営に関する事項についてでございます。

まず、会議の公開・非公開を決めなければなりません。事務局から案が示されておりますので、まず事務局から説明をお願いしたいと思います。

○折田総合計画課長

それでは、事務局から資料の4に基づきまして、仙台市総合審議会の運営についてご説明をさせていただきます。

まず、会議の公開につきましては、本市では審議会は原則公開という方針がございますので、その方針に沿った形で、事務局で案をつくらせていただいておりますが、具体の取り扱いについては各審議会でお決めいただくこととなっておりますので、ご審議をいただければと存じます。

概要だけご説明をいたしますけれども、まず会議の公開・非公開についてでございます。

本審議会では、本市の方針にのっとりまして公開を原則とさせていただきたいと考えております。例外的に非開示とする場合は、個人情報など仙台市の情報公開条例で非開示とすべき情報を取り扱う場合といたしますけれども、本審議会では、非公開情報を取り扱うことは今のところは想定をしてございません。非公開とすべきときは、各審議会、各回の冒頭に、議長から委員の皆様にお諮りしていただきまして、審議会で個別に決定していただくことを考えております。

また、傍聴の方の遵守事項についてでございますが、資料の4の裏面に書いてございますけれども、会議の運営その他傍聴者の妨げとなることを控えていただくという内容となっておりますので、本市の審議会の標準的な遵守事項となっております。

それから、議事録の作成でございますけれども、議事録の署名につきましては、委員の方全員というわけではなく、議長と、それから議長が会議の冒頭で指名した委員1名の方にご確認をいただきまして、署名をちょうだいした上で作成をさせていただきたいと考えております。

なお、この議事録の公開に関しましては、おおむね会議から2、3週間後を目処にさせていただきたいと考えておりますけれども、近年の審議会の公開のあり方等々の流れにかんがみまして、事務局の責任において速報版の議事要旨を作成させていただきまして、おおむね1週間以内にホームページ等で公開をさせていただきたいと考えております。

説明は以上でございます。

○大村虔一会長

ただいまのご説明に対しまして、何か質問等ございますか。

ございませんでしたら、今説明がありましたように、仙台市では公開を一応原則としているということでございますし、また、この審議では余り非公開の内容がないのではないかとこのお話でございますので、公開を原則としたらいいのではないかとと思いますが、もし何か非公開にせざるを得ないようなものがあつた場合には、皆さんにお諮りをして、その場合には非公開ということにするけれども、そういう話がない限りは公開という原則でよろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

○大村虔一会長

どうもありがとうございます。それでは公開の原則をこの審議会ではとりたいというふうに思います。

また、最後にお話がありました議事録についてでございますが、事務局の案のとおりでよろしゅうございますか。

(異議なしの声あり)

○大村虔一会長

ありがとうございます。それではそのようにさせていただきます。

早速でございますが、本日の会議の議事録署名につきましては、名簿順ということで、アイウエオ順で足立委員にお願いしたいと思いますが、足立委員、よろしく願いいたします。

○足立千佳子委員

はい。よろしく願いいたします。

○大村虔一会長

それではお願いいたします。

イ 仙台市総合計画審議会の日程について

○大村虔一会長

次に2番目です。今後の進め方についてでございます。まず本議会の日程について確認しておきたいと思います。

市長からのお話では大変忙しいスケジュールになってございますので、それをどんなふうに進めたらいいかという大筋を把握した上で、答申をまとめるように努力したいというふうに思っております。

いつごろまでに答申をまとめたらいいのか、事務局から全体の日程などについてご説明願いたいと思います。

○折田総合計画課長

それでは、資料の5をごらんください。

審議会日程(案)という資料でございますが、これに沿ってご説明をさせていただきます。

まず、第1回目の審議会でございますが、ただいまございました会長、副会長の選出、それから会議運営方法、それから配付してございます資料の説明等を考えております。

2回目の審議会、来月20日の18時30分、今日と同じ会場を予定しておりますけれど

も、そこで本格的な議論をスタートさせたいと考えておりまして、新総合計画の策定の考え方、将来像といった大きな課題についてご審議をいただければと考えております。

その後、今年 21 年内を目処といたしまして第 1 回、第 2 回の起草委員会というのがございますけれども、こちらは基本構想のたたき台を委員の皆様にご審議いただくために、6、7 名の方に起草委員をお願いして、集中的に論点整理を行っていただきました上で審議を進めていきたいと考えておりますので、年内にはその起草委員会を 2 回程度開催したいと考えております。

年明けになるかと思いますが、第 3 回の審議会で、基本構想のたたき台についてご審議をいただきまして、さらにその審議の結果を踏まえて起草委員会で基本構想中間案について起草をいただき、目標といたしましては 21 年度内、来年 3 月末までに審議会を開きまして、基本構想の中間案を確定させていきたいと考えております。

それから、年度がかわりまして、22 年度に入りましてからは、その基本構想の中間案に基づいて基本計画の個別の議論に移っていききたいと考えております。

4 月、5 月は部会という形で、委員の方を複数の部会に分けて分野ごとにご議論いただきたいと考えておりますけれども、そちらをもとにいたしまして第 5 回、第 6 回ということで、徐々に基本計画の中身を固めてまいりまして、第 7 回の審議会、夏ごろになるかと思いますが、第 7 回の審議会では基本計画の中間案を確定させた後に、パブリックコメント手続等を行った上で、大変お忙しい中、恐縮でございますが、来年 11 月ごろに第 8 回の審議会では答申案をちょうだいできればと考えております。

今の現行の計画は、平成 22 年度内が期限となっておりますので、その答申をいただいた後に、市議会での議決をいただいて、さらには実施計画を作成した上で、23 年 4 月から新たな総合計画をスタートさせていきたいと考えております。

以上でございます。

○大村虔一会長

審議会の日程につきまして、事務局から示された案でございますが、いかがでございますか、よろしゅうございますか。

私の正直な感じではこれは大変だという感じでありまして、我々が大変な以上に恐らく事務局はもうとんでもなく大変なんじゃないかというふうに思いますが、ひとつよろしくお願いしたいと思います。

皆様よろしければこのように決定をさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

(はいの声あり)

○大村虔一会長

それでは、これに沿うように努力をしていきたいというふうに思います。

来年 3 月までに基本構想の中間案というのをまとめるということでございますけれども、よほど効率的に進めていく必要があるかと思えます。

審議会では基本構想を議論する際のたたき台を策定する作業部会的な位置づけで、起草委

員会というものを設けて、大変ご苦勞をおかけいたしますけれども、少人数で集中的に議論をしていただき、それをたたき台にしてみんなで議論をするというようなやり方をとりたいと思いますが、いかがでございましょうか。よろしゅうございますか。

(はいの声あり)

○大村虔一会長

ありがとうございます。それではそのようにしたいと思います。

なお、どなたに起草委員をお願いするかということにつきましては、副会長と相談の上、次回に提示しご判断いただきたいと思いますと思いますが、それでよろしゅうございますか。

(はいの声あり)

○大村虔一会長

ではそのようにさせていただきます。

ウ その他

○大村虔一会長

そのほか、審議会の運営について何か皆様からご質問、ご意見等ございましょうか。よろしゅうございますか。

(なしの声あり)

(2) 仙台市を取り巻く現状について

○大村虔一会長

それでは、議事の第3でございます。今回、総合計画の審議に当たりまして、仙台市の現状を十分把握しておく必要があると思いますので、事務局から説明をお願いしたいと思います。

当然、今から何分かの間で状況を全部把握するというのはなかなか大変なことでございますから、まずそのとっかかりというようなことになろうかと思いますが、ひとつよろしくお願いいたします。

○ 折田総合計画課長

それでは、資料の6から11、大変大部で恐縮でございますけれども、そちらと追加で配付いたしました都市ビジョンにつきまして概要をご説明いたしますけれども、中身に入っていきますと、とても1時間2時間で終わるというのは難しゅうございますので、それぞれの資料の位置づけを中心にご説明をさせていただきたいと考えております。

まず、資料の6をご覧ください。緑色の薄い冊子でございますが、こちらは現行の仙台市の基本構想でございます。

現行の総合計画は、超長期の数十年をスパンとする都市づくりの指針となる基本構想、それから、それに沿った 10 年程度の長期計画でございます基本計画、資料 7 でございますけれども、基本計画。それから、3、4 年程度の中期計画でございます実施計画から構成をされております。

資料 6 の基本構想は、構想策定の前提となる社会状況でありますとか、構想の位置づけを示しました策定の趣旨、それから仙台が目指すべき理想像でございます都市像、それから都市像実現のための施策の基本方向、それから構想推進の手法である基本構想の推進といった構成になってございます。

続きまして、資料の 7 でございますが、こちらは現行の基本計画でございます、先ほど申し上げましたとおり、この基本構想の都市像というものを実現するために、平成 10 年度から平成 22 年度までの約 10 年間に取り組むべき施策というものを体系的に示したものでございます。

計画の趣旨や位置づけ、それから基本指標などをお示ししております基本的な考え方、開いていただきまして目次をご覧くださいと思いますけれども、その基本的な考え方、それから都市空間のフレームを定めました都市空間形成の枠組み、それから各都市像を実現するための施策展開の基本方向、基本方向ごとに施策をまとめました分野別の計画、それから、区ごとに地域の将来像とその他のための施策の方向性をまとめました区別計画、さらに各施策を実施するに当たっての都市経営の基本的施策を定めました都市経営、以上 6 章の構成となっております。

本計画の特徴といたしましては、市民と行政の協働による都市づくりの観点から、行政の施策だけではなくて、市民の皆様、それから民間企業に期待される役割ということについても触れております。

それから、本日追加で配付をさせていただきました都市ビジョンでございます。恐らく一番下に概要版と本体、本体は白地で周りが緑になってございますけれども、こちらは平成 19 年 1 月に作成をさせていただいたものでございます。この都市ビジョンは、基本計画を策定したのが平成 10 年ということでございますので、その後の環境の変化を踏まえまして、創造と交流というテーマに基本構想の都市像の実現というものを図っていくために、市民、企業、行政がともに取り組む今後の都市づくりの基本的な方向性を示したものでございます。基本計画とは網羅している分野がちょっと異なっておりますけれども、現基本計画を補完する位置づけであるということで、今後のご審議にご活用いただければということで、本日配付をさせていただきました。

以上は、これまで仙台市が既に発表している資料でございますけれども、これからが今回審議会に当たりまして事務局にて作成をさせていただいた資料でございます。

続きまして、資料の 8 をご覧ください。

紙ファイルでとじさせております分厚い資料でございますけれども、この中身についてちょっとすべて触れるということは考えておりませんけれども、使い方を中心にご説明をさせていただきます。

この資料は、さまざまな客観的なデータを事務局で取りまとめましたので、本市の抱えております主な課題ということを概略的に把握することで、委員の皆様の議論のきっかけ

になればということで作成をさせていただきまして、必ずしも市政すべての分野、施策を網羅しているというものではございません。

お開きいただきまして、この耳が青色と赤色に分かれておるかと思いますけれども、テーマの1から5、青色のものに関しましては市政全般にかかわるもの、人口でありますとか財政の状況でありますとか、そうしたものをまとめておるものでございます。それから、後半になります赤色で張らせていただいております部分につきましては、個別の分野にかかわるものでございます。

全体として非常に大部となっておりますけれども、1枚、2枚おめくりいただきまして、人口のところをお開きいただければと存じますけれども、その1、人口の下に、枠囲みで記述してあるところがあるかと思います、各分野それぞれ、この枠囲みの部分でお配りした資料の概要というものを記載させていただいておりますので、まずはこの箱囲みの中身につきましてさらっと目を通していただきまして、もしご疑問等があれば、そのバックデータがそれ以降細かく書いてございますので、そちらを適宜ご参照していただければと存じます。

それで、本資料の取り扱いですけれども、今後審議を進めていくに当たりまして、これをすべて事前にご覧いただいた上で進めていくというのはちょっと考えておりません、特に基本構想というのはこのまちの大きな枠組みについて議論していくということもございまして、次回の第2回審議会の開催までに、事務局にてもう少し論点を絞った資料を、会長とご相談させていただきながらお示しをさせていただきたいと考えておりますので、その際に関連部分をご覧いただくとか、それから、先ほど来年度から基本計画の審議に入っていただくというご予定で進めていきたいというお話をさせていただきましたけれども、各個別分野の細かい議論の際に、中身について改めてご覧いただければというようなことを考えておりまして、全体を通じて辞書的にご活用いただければと考えております。

また、この資料につきましては、適宜追加することも考えておりますけれども、先ほど次長からも申し上げましたとおり、ご自宅用に一部、それから本日お配りしてございます資料につきましては、委員のそれぞれ皆様ごとに封筒に入れまして、次回また席上に置かせていただきますので、メモ等をお書きになられても結構でございますので、ひとつよろしく願いをいたします。

では、中身について、ちょっと細かい説明というのは省略させていただきますけれども、先ほど市長からのあいさつにもありましたとおり、ちょっと人口についてだけ簡単にご説明をさせていただきたいと思っております。

詳しい中身についてはそれぞれの資料をご覧いただければと思っておりますけれども、我が国の人口自体が既に減少に転じておりまして、我が国の総人口が2046年、平成58年には1億人を割るということが見込まれております。また、2055年、平成67年ですが、そのころには9,000万人弱になるということが見込まれております。

翻りまして本市の人口につきましては、自然増加数がやはりかなり少なくなってくるという傾向にございまして、社会移動に目を移しましても、東京圏への転出超過、それから東北各地からの転入の減といったところで、その増加率が低下しているという状況にござ

います。

中に、今後の将来人口推計について、いろいろなパターンで推計をさせていただいておりますけれども、本市の人口は恐らく 2011 年、この計画が始まります平成 23 年ごろにピークを迎えまして、それ以降は減少に転じるということになるのではないかとということで、今のところ整理をさせていただいております。

そうした形で、そのほかの各個別の課題につきましては、大変恐縮ではございますが、枠囲みの部分だけで結構でございますので、お目通しいただければと考えております。

それから、資料の 9 に移らせていただきます。

資料の 9 は、仙台市基本計画、仙台 21 プランの策定後の状況ということでまとめさせていただいておりますけれども、1 枚おめくりをいただきまして、1 ページをご覧くださいと思いますが、資料の 9－1 は、現行の基本計画策定後の主な取り組み状況というのを、基本計画の分野別の計画、大分類ごとに取りまとめたものでございます。2 ページ目以降にそれぞれの都市像ごと、都市像が 4 つとそれから都市経営というものがございますが、それぞれの……。

○石川建治委員

すみません、2 ページ目が抜けている……2、4 がない。1、3、5 まで……。

○折田総合計画課長

大変失礼をいたしました。恐らく皆様そうだと思います、今、刷り直したものををお持ちいたしますので、資料の 9 につきましては、また後ほどご説明をさせていただきます。失礼いたしました。

それでは、資料の 9 は後ほどということで、次に資料の 10、市民アンケートの集計結果についてご説明をさせていただきます。

資料の 10－1 は、カラー版の市民アンケートの結果の概要ということでお示しをさせていただいておりますけれども、こちらは毎年、本市で市民 1 万人を対象といたしましてアンケートを実施しております。こちらの資料につきましては、本市でも既に公表しておりますので、ご覧になられた方もいらっしゃるかと存じますが、資料の 10－1 は概要ということで、仙台市に対する満足度でございますとか、あとそれからお聞きいただきまして、それぞれ個別の分野ごとに市民の皆様がこういった形でお感じになられているかということをもとめてありますので、審議の際にひとつご活用いただければと考えております。

それで、裏面にまいりまして、仙台市の施策評価に関する総括質問ということで、これまでの仙台市の取り組みで評価できると思う施策、それから不十分だと思う施策、それから今後力を入れていくべきだと思う施策について、それぞれ回答の多い順に記載をさせていただきます。この順番がすべてということではないかと存じますが、市民の皆様はこういった点に注目をされている、こういった点に関心が高いというひとつの材料になろうかと思っておりますので、ご参考までにご覧をいただければと存じます。

このアンケートの詳しい中身につきましては、資料の 10－2 をご覧いただきまして、各

細かい回答状況、年齢別の回答状況等を含めまして書いてございますので、後ほどご覧いただければと存じます。

それから、実はこれが今回初めてお出しする資料になるんですけれども、資料の 10－3、仙台市施策目標調査報告書の中で、実は今回、特別に総合計画の関連質問ということで、普段自由記述の欄はひとつしか設けていないんですけれども、新たに欄を 2 つ設けさせていただきまして、仙台のまちのよいところ、将来に引き継いでいきたいところということをお伺いをいたしまして、もうひとつは仙台によくなってほしいところ、12 ページ以降になりますけれども、足りないと思うところについて、それぞれご意見をちょうだいしたものでございます。

かなり市民の皆様、お忙しい中、多様なご意見をいただきまして、なかなかすべてを紹介することは難しいのですが、我々事務局でそれぞれの分野ごとに大体どれぐらいの件数の意見が寄せられているのか、それから、主な意見というのはどういったものであったのかということにつきまして、それぞれまとめてございますので、ご覧いただければと存じます。

以上が資料の 10 についてのご説明でございます。

続きまして、資料の 11、有識者・団体等ヒアリング結果報告書につきましてご説明を申し上げます。

この資料は、昨年度、我々総合計画課の職員が、各原局の職員も一緒に有識者の方々、今日、お集まりの先生方の中にも何人かご協力をいただいているかと思っておりますけれども、先生方のところに直接お伺いをしてお話を伺ったということと、あとさらに、学識経験者だけでなく、NPO 等現場で働いていらっしゃる方のところにお伺いして、各分野が抱えている課題についてお伺いをしたというものをまとめたものでございます。

この資料 11 というものがその概要版でございまして、それぞれまとめ方といたしましては、基本計画の都市像を体系ごとに、どういった課題があるのかという形で皆様方のご意見、こういうご意見がありましたということを概略的にご紹介させていただいているものでございます。

それからもうひとつ、資料の 11、附属資料というものをつけさせていただいておりますけれども、こちらが意見の全体版でございます。だれがどういうことを言ったのかというようなまとめ方にはなっておりませんが、各分野別にこういった形でご意見があったということを網羅的にご紹介させていただいておりますので、各分野のご審議の際に、それぞれの分野の専門の方のご意見でございまして、こちらもお覧いただきながらご意見をちょうだいできればと考えております。

それでは、ただいま資料の 9－1、刷り直したものが届きましたので、行き渡りましたら中身のご説明をさせていただきます。

中身は大丈夫でございましょうか。

大変ご迷惑をおかけして申しわけございませんでした。では、改めまして資料の 9－1 につきましてご説明をさせていただきます。

おめくりいただきまして、再度 1 ページをご覧いただければと思いますけれども、仙台 21 プラン、4 つの都市像を掲げておりますけれども、その都市像ごとに策定後の状況、平

成 10 年以降の状況につきまして、概略的にそれぞれ都市像ごとにまとめさせていただいております。それから、最後のページは都市経営ということで、行政改革の取り組み等もあわせてご紹介をさせていただいております。

あと、これに関連をいたしまして、資料の 9－2、A 3 の横長に平成 20 年度重点事業進捗状況報告書というものをつけさせていただいておりますが、こちらの資料の位置づけなんですけれども、今の現行の基本構想、基本計画については、実施計画レベルでフォローアップをするというような制度設計になっておりまして、実施計画において、3 から 4 年の中期の目標というのを基本計画の趣旨にのっとりまして立てさせていただいた後に、その中期目標が一体今どのような状況にあるのかということを、重点事業、50 事業定めまして、そちらにつきまして取りまとめたものでございます。

おめくりいただければと思いますが、3 ページ以降が本体となっておりますけれども、こういった事業で、それについて決算額ベースでございますが、幾らの資源が投入されているのか、その事業の内容がどうか、それから、その重点事業について各原局はどのように評価をしているのかということを記載してございますので、今の総合計画の体系ではこちらがフォローアップといいますか、評価ということでは一次的な資料になろうかと存じますので、今回つけさせていただきました。

大変長々と、不手際もありまして申しわけございませんが、事務局からの説明は以上でございます。

○大村虔一会長

ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、これだけ膨大なので、ご質問というのなかなか難しいと思いますが、ご質問がございましたらば、どうぞ。ちょっと大き過ぎてなかなか難しいと思いますが、何かお気づきの点ございましたら、どちらからでもどうぞお願いいたします。

ございませんか。最初が大体なかなか出にくいんですが、一人が出てくると、あんな程度でいいならおれも聞きたいというのがいっぱい出てくるんですが、ございませんか。

私から、それじゃちょっと口火を切りますが、今の中に入っているんだと思いますが、NPO とか NGO とか、仙台で活躍している組織や何かが何団体ぐらいあってどんなことをやっているかなんていうのは、この中に含まれていますね。

○折田総合計画課長

ただいまの団体数につきましては、本日お配りした資料の中には入ってございませんが、NPO の法人数のみでありましたら、資料の 6 の 13 をご覧いただければと思いますが、本市の NPO 法人数、それからそれに対する指定都市との比較ということを書かせていただいております。

あと、その他につきましては次のページ、市民活動団体の活動状況ということで、こういった分野で何団体程度活動しているのか、それから連携の有無等を書かせて——すみません、資料の 8 です。失礼しました。資料の 8 の 6 でございます。コミュニティというこ

とで、その資料の 8 の 6 の 11 でございます。大変失礼いたしました。冊子の中にコミュニティの欄を引いていただきまして、そこから下の真ん中に 6 の 1、6 の 2 という形でページが振ってございますけれども、その中の 6 の 13 ページに N P O 法人数が記載してございます。

○大村虔一会長

数量よりも僕が関心を持っているのは、行政やあるいは民間企業などが世の中をよくするためにいろいろ活動しているわけでありましてけれども、そういう中ではなかなか補い切れないことがあって、やむを得ず N G O とか N P O とかいうのはなけなしの金でいろんな活動を始めることが多いわけですね。ですから、今やられていることの中で何がちょっと不足しているのかというあたりを見ようとすると、N P O や何かがどんなことで働いているのかといったあたりのことを見るのは、割に有効かなというふうに感じておりますので、その辺を少し整理していただけるとありがたいと思いますね。

○折田総合計画課長

かしこまりました。

○大村虔一会長

というような簡単な話なんでございますが、いかがでございましょうか。
どうぞ。

○菊地昭一委員

基本的なところを確認させていただきますけど、仙台 21 プランは平成 10 年から平成 22 年までの 13 年間、今回の新たなマスタープランはたしか 10 年というふうに認識しているんですけれども、前は 13 年で今回 10 年というその考え方について、何か市としてこれについての考えはあるんですかね。

○大村虔一会長

いかがでございましょうか。

○折田総合計画課長

ありがとうございます。前回の 21 プランは 13 年間の期間を考えておりましたけれども、その 13 年という期間につきましては、10 年程度の中で 2010 年までということで、切りのいいところというところもございまして 13 年間という形にさせていただいておりましたが、実は第 2 回の審議会の際に、こちらの計画期間を皆様にご審議をいただきたいと考えてございます。事務方といたしましては、委員からご指摘ありましたように、大体 10 年程度ということを考えておりますけれども、基本構想の年度、それから基本計画の年度、それぞれにつきまして、理由も含めて第 2 回の審議の際にお示しをしてご審議をいただきたいと考えておりますので、是非よろしく願いいたします。

○大村虔一会長

よろしゅうございますか。それも審議の内容に入るということでございます。
ほかにいかがでございましょうか。
どうぞ。

○増田聡委員

たくさん資料をつくっていただいて大変ありがとうございました。それで、特にこの資料8及び平成20年度の重点事業等については、仙台市のホームページ等にいろんなデータがこのほかにも載っていると思いますので、是非どこかのホームページに、ここを参照せよというのを、リンク集を張っておいていただけると新しいデータにすぐに行きつけるようになると思いますので、2年後ぐらい隔世した暁にはデータもかなり古くなったりしておりますので、そんな作業を、ちょっと作業は大変かもしれませんが1度やっておくと後が楽だと思いますので、総合計画のサイトを是非開いていただきたいというふうに思います。

もうひとつ、その平成20年度の重点事業もそうですが、もしかしたらもう終わってしまった事業が、平成15年で終わっているとかというのがあれば、過去に終わったものも、前回の計画期間のものについては、同じように資料を出していただきたいなというふうに思いました。

あとは、まだちょっとみんな読み込めていないので。

○大村虔一会長

簡単に申されましたけれども、事務局は汗を随分かいているんじゃないかと思うんですが、今のご意見、いかがでございましょうか。

○折田総合計画課長

すべてのご要望にすぐお答えできるかというところは、持ち帰りまして作業量も含めて検討させていただきたいと思いますが、今の先生のご指摘を受けまして、最大限情報についてはお出しをしたいと思いますので、それが2回目の審議会に間に合うかどうかは、ちょっと量にもよろうかと思いますが、2回目の審議会に向けて間に合うものはお出しをしたいと考えております。

○大村虔一会長

それでよろしいですね。

○増田聡委員

はい。

○大村虔一会長

ほかにかがでございましょうか。

なければ、もうひとつ僕から、市民アンケートとか満足とかいうやつについてでございますけれども、随分前に宮城県の施策に対する県民の満足度というような調査をやっておる審議会があつて、それに出たとき感じたものでありますが、割に施策が細かくいろいろやられているやつに対しては注文が結構出てくるんですね。それで、例えば文化のことなんていうのは、案外注文がなくて満足しているみたいなんです。本当はもっとちょっと違うんじゃないかなと、こう思うんですが、そのアンケートから出てくるものというのは、そういう性質のものだということを知ってかからないと、アンケートでいっぱい不満が出ているようなところに一生懸命何かを投じればいいというわけでも必ずしもないというあたりを感じたので、その辺、皆さんのいろいろご判断というか、委員のご判断というのは非常に重要になってくるんじゃないかなというふうに思います。

それで、今日、お示しいただいたいろいろな市民からのアンケートというのを、どんなふうに読んでいくかなんていうのが、多分我々の仕事になるかなというふうに思いました。

気がついたことで、特に質問ではございません。

なんていうような感じの話でもいいんですけど、いかがでしょうか。

特にございませんか。どうぞ、はい。

○大滝精一委員

今の大村先生のお話とちょっとかわりがあると思うんですけども、例えばこの資料 7 の仙台 21 プランというのを見たときに、結局何がどこまでできて、市としてはどこに課題があり、次のステップで取り組む必要があるのかというようなことを、ある程度、総括と言うと言い過ぎかもしれないんですけども、少なくとも市として、ここまでの政策なり施策の体系のありようみたいなことに関して、どういうふうな評価をしているかということは何らかの意味で示すべきじゃないかという気はするんです。

この 21 プラン自体のつくり方は、それぞれの政策とか施策に対して、評価とか到達の目標を定めるとかということは、余り厳格というか厳密にはやっていないということもあるし、個々のものについていちいち全部そういうことをやるのが本当にいいことかどうかということについて、いろんな議論があり得ると思うんですけども、そういうものを私たちが見たり考えて、この後どういう計画にしていっていいかということを見るときに、これだけの資料の中の大体どういうところを見たらいいのかとか、あるいは少なくとも、市の側としてはどういうふうな問題意識を持っているかというのは、どういうふうに私たちとしては考えておいたらいいのかという、そういう質問です。

○大村虔一会長

大変難しい質問かもしれませんが、事務局、いかがでございましょうか。

○折田総合計画課長

実は、事務局でも今回の 21 プランの振り返りということで、市役所内全部照会いたしまして、このプランの細かい記述がございしますが、細かいちっちゃな丸ごとにすべて、こ

の 13 年間どういう施策展開があり、今どういう状況であるのかということを調べさせていただいております。すべてで 327 項目ございまして、お配りするとドッチファイル 1 冊分になるので今回は省かせていただきましたけれども、必要に応じて、例えばこの施策についてどうかというお問い合わせがあれば、そういったことはすぐお出しできるような準備はできておりますので、お示しをしたいと思います。

その資料を踏まえまして、市としてその体系ごとに今の現状はどうかということを取りまとめなければいけないということは、ご指摘ごもつともでありまして、我々も是非やりたいなと思っておりましたけれども、こういった性質のものを評価する際に、あらかじめ定量的な形で目標設定がなされていれば、それに対する進捗状況ということはお示しすることはできるかと思いますが、なかなか定性的な記述が多くございまして、これについてどうかということをもとめるのが非常に難しかったということにつきましては、我々の力不足ではございますけれども、難しい点があったことはご理解をいただきたいと思います。

そこで、我々としては、概略的に今までの状況ということでお示しをさせていただきましたけれども、なかなか今の先生のご指摘にすべてお答えするような資料を作成することが可能かどうかというのは、なかなか難しいかもしれませんが、先ほど申し上げましたように、第 2 回目の審議会で、仙台市として一体どういう問題意識を持っているんだ、課題認識はどうなんだということにつきましては、網羅的にということにはちょっと細かくなってしまうかもしれませんが、基本構想を議論する際に当たって、大どころの課題につきましてはそちらの資料をお示しさせていただきまして、必要に応じて、細かい点についてどうかということもご紹介をさせていただきたいと思いますので、そういった方向で進めさせていただければと事務局としては考えております。

○大村虔一会長

どうぞ。

○大滝精一委員

状況はよく理解できました。今の話ですと、基本的に例えば次回までに何か資料、これは全部目を通すのはなかなか大変ですので、特にこの 21 プランを中心として、仙台の現在のプランに関する進捗状況とか課題について見ようとするときには、先ほど配付された基本計画の策定後の状況ですとか、それから市民に対するアンケート調査とか、そのあたりのところをまず一通り見た上で、どういうものがあるかということをお互い程度こちらの側としてもそこの中で勉強するというか探しておくとか、そういうような準備をしておくというようなことで大体よろしいですか。

○大村虔一会長

いかがでしょうか。

○折田総合計画課長

そこまで細かくは見ていただくのは恐縮でございますので、第 2 回目に向けて資料を作

成いたしますが、簡単にお目通しをいただければ事務局としては幸いです。

○大村虔一会長

ありがとうございます。

ほかにいかがですか。今、その辺でお手が挙がっていたような気がしましたが。

○西大立目祥子委員

質問とかいうことではないんですけれども、例えば市民アンケートを実施して、そこでいつも半数ぐらいなんですか、回答率というのは。どのぐらい戻ってきているものなんでしょう。私としては、答えなかった方々がどういう生活をなさっているかというのが、いつも気になるんです。

例えば、図書館の利用でも、図書館の利用率は毎年上がっているというふうに伺うんですけども、もしかしたら同じ方が頻繁に借りるようになっているだけなのかもしれない。その辺を見通す方法というか、例えば区役所ごとに何か市民の方々の声を吸い上げるような機会というのか、そういうものというのは今の段階では何もないのでしょうか。

○大村虔一会長

どうぞ。

○折田総合計画課長

まず、市民アンケートの回答率に関しましては概要でお示ししておりますが、1万人のうち4,400人、率として44%の方にご回答いただいております。無作為抽出でお送りしておりますので、回答率からすると、特にこのアンケートに対する報酬等も用意していない中で、非常に高い率でご回答いただいているのかなと考えております。

今、委員からご指摘のありましたこの残りの5,600人の方々の意見こそ何とか我々が聞かなきゃいけないということは、ご指摘のとおりかと思えます。なかなかアンケートという形でお答えいただけない方に対して、我々から伺って意見をお伺いするということは、すべての方については難しいかもしれませんが、例えば、属性別にこういうアンケートでお答えが少ないというのはサラリーマンの方でありますとか、お仕事をされていて忙しい方というのは非常に回答が低くなってございますので、そういった形で我々からグループインタビューのような形で意見をお伺いしに行くということも、これから考えていかなければいけないかなと思えますし、あとやはり仙台市職員1万人おりますが、1万人の職員がそれぞれアンテナを張りめぐらせて、それぞれが情報収集をすると、みずからの家族であるとか隣近所であるとか、そういったことで市民の皆さんのニーズということを把握していくことも、ひとつの今の委員のご指摘に対する答えになろうかと考えておまして、実は昨日になりますけれども、全職員に対して、今の市政に対する状況についての政策提言というようなことで照会をかけさせていただきました。市長からも全職員に対して直接メールでこの照会に対する趣旨ということを説明して、協力を要請をさせていただいたところなんですけれども、そういったところで、問いかけといたしましては、今の仙

台市の政策で届いていない部分は一体どこにあるだろうか、現場の職員の方々の目を見て、我々がやっている施策に誤りはないのかといったところを中心に、何でもいいから問題点、課題というのを見つけて報告をしてくれというような形で照会をかけておりますので、さまざまな手法を通じましてそういった情報を集めて、委員の皆さんに審議の中でご提供させていただければなというふうに事務局では考えております。

○大村虔一会長

よろしいですか。

ほかにございましょうか。どうぞ。

○岡本あき子委員

すみません。ちょっと1点、基本的なことの確認で申しわけないんですけども、今回、基本構想策定の審議をする、計画の策定なんですけれども、今ちょっと都市ビジョンの資料を見ていまして、3ページを見たところ、仙台市基本構想があつて、21プランがあつて、都市ビジョン実施計画という図があるんですけども、この基本構想というものをちょっとご説明いただけるとありがたいと思ったのと、その基本構想自体は平成9年に策定して、それは変わらないものなのか、そこも含めての基本計画ということなのか、教えていただきたいと思います。

○大村虔一会長

事務局、お願いします。

○折田総合計画課長

すみません、説明が基本的なところが抜けておりまして申しわけございませんでした。

仙台市の基本構想というのは、資料の6でお配りしておりますこちらの中身になります。それで、役人の言葉の使い回しで大変わかりづらくて恐縮ですけれども、総合計画という言葉がございしますが、こちらはこの基本構想、それからその下に位置づけられます基本計画、それからそのさらに下にあります実施計画、この3つの総称が総合計画ということでございます。

それで、今回諮問をさせていただきましたのはそのうちの2つでございます。都市ビジョン、今、岡本委員からお示しをしていただきました3ページが一番わかりやすいかと思えますけれども、都市ビジョンの3ページに大きなピラミッドのような形でお示しをさせていただいておりますが、まず基本構想、これが最も基本的な都市の将来像を示すものでございまして、これは21世紀の中葉を目指したものでございますが、こちらと、それからその下に位置づけられます平成10年度から22年度までの基本計画、この2点につきまして、現下の社会経済情勢にかんがみまして見直しが必要であろうということで、基本構想、基本計画の2点につきましてご審議をいただければということで、本日、諮問をさせていただきます。

○大村虔一会長

どうぞ。

○岡本あき子委員

ということは、ここの部分についても審議をして構わないということによろしいんですね。

○折田総合計画課長

はい、さようでございます。

○岡本あき子委員

はい、わかりました。ありがとうございます。

○大村虔一会長

ほかにございますか。どうぞ。

○樋口稔夫委員

それでは、ちょっと今回のこれとどうリンクするのかちょっと聞きたいと思ったんですが、今、国策も大分大きく変化しそうな感じでありますし、あと宮城県の総合計画とか、いろいろな計画があると思うんですが、そういったもののすり合わせといいますか、やはり財政的な問題とかいろいろ絡むところが多いと思いますんで、夢は夢としていいんですけれども、やっぱり実際、施策としてやっていけるかどうかと、そういう位置づけをどう定めていくのかというのが大変難しくなってくるのかなと思います。

そういうことで、その辺を今後どういうふう to この中に取り入れていくかというところをちょっと知りたいと思ったんですけども。

○大村虔一会長

どうぞ。

○折田総合計画課長

大変よいポイントかと思います。国の状況につきましては、来年度の予算編成作業がこれから本格化してまいりますので、恐らく現政権のマニフェストの中身が、来年度以降、どういった形で具体化していく絵姿が本年の12月の末ごろには明らかになってくようかかと思っておりますので、事務局といたしましても、そういった国の状況について注視をして、本市の施策にかかわるような大きな制度変更等が予想される場合には、審議会委員の皆様にもご紹介をさせていただければと考えております。

また、宮城県につきましては、今回の審議会の委員の先生の中にも、今の県の総合計画の策定に携わられている委員の先生方いらっしゃいますので、そうしたご経験をご紹介いただければと思いますし、その富県戦略というものがあるのか今後どうなるのかについて、また動

きがあり、本市の施策、これからの審議に必要であれば、適宜ご紹介をさせていただきたいと考えております。

○大村虔一会長

よろしいですか。

先ほどの事務局の説明を少し、僕コンサルタントを昔やっていたので、しておきたいと思いますがけれども、基本構想というのは余り何年後とはっきりしていなくて、かなり長い期間でこういう方向で行きたいなというのを決めるものなんです。それは決めたら議会で議決するんです。そして、その市にとってのある種の憲法みたいな、まちづくりのあり方みたいなものになるんです。

片一方の基本計画というのは、もうちょっと短く10年とか10数年とか、いろいろ市町村によって違いますが、かなり現実の予算だとか何かも考えながらこのぐらいまでのことをやろうと。本当はしっかりした、その10年なら10年の間の数値の目標とか、そうしたものをイメージしながらつくるのが、多分基本的には本来のあり方だと思います。

しかし、現実社会は経済的に揺れておりますから、その10年分のやつの10分の1を毎年やるというわけにはいきませんので、実施計画の中で、その状況を見ながら基本計画や基本構想に照らして拍車をかけたり、少し手綱を引いたりというのをやる形で実現していくというのが一般的な計画で、その途中途中でいろいろ状況を判断して、これはもう少し前の計画ではこのぐらいにするけど、もう少し進めないとこれは問題が大きいとか、そういうのを反映していくというようなやり方をするのが一般的だと思いますので、その基本構想という長期的な話と、それから10年前後のかなりリアリティーのある基本計画というのを審議してくださいというのが、先ほど市長から依頼されたことであります。

どっちも変化が激しくないときには、割につくりやすいんですが、相当大きく変化しそうな状況でございますから、皆さんの知恵をとにかく集めて、ここの中でしっかりそれをつくるというようなことになろうかと思います。間違っていないですね。

○折田総合計画課長

本来、事務局から説明しなければいけないところを、会長、ありがとうございます。

1点だけ、実は仙台市で条例の改正がございまして、今回からは基本計画も議会での議決事項ということになってございます。

○大村虔一会長

議決をすることになっている、なるほど。その基本計画の議決というのは、非常に数値とか何かははっきり見えてきますので、余り見ずにやるんですか、アバウトでやるんですか。

○折田総合計画課長

なかなか難しいご質問でございますが、それも含めてご審議をいただければと考えておりますが、なかなか1年先も見通せない中で、10年間の数値目標というものをどこまで掲

げられるのか、他都市の例を見ましてもいろいろ苦労があるようでございますので、そのあたりも含めてご審議をいただければと考えております。

○大村虔一会長

わかりました。アバウトの方向は大体こうだろうというのは、そう間違えないで読めるんですが、10年間の数値まではつきり入れて議論するというのは多分相当難しい技術だと思いますので、皆さんの議論を得ながらどんなふうにするか考えていきましょう。

ほかにいかがでございましょうか。はい、どうぞ。

○鈴木由美委員

先ほどの市民の政策目標の調査のアンケートに関するひとつの要望なんですけれども、先ほど調査結果の4,400人の結果、それから仙台市の職員の方にもアンケート調査をというお話がありましたけれども、それは皆さんが日々暮らしている中の声ということで受けとめていいかと思えますけれども、それとは別に、市に寄せられる要望それから苦情というようなものをそれぞれ各部門で抱えていると思います。そのほうが、より市民の生の声という感覚で、私は意見としてとらえることが必要じゃないかなと思いますので、その部分についてのデータの提出というか、内容のわかるようなものを、できれば私は次回のところで資料として添付していただければなと思いますので、どこまでできるかは大変時間のない中、申しわけないとは思いますが、何かそういうもののわかるものの資料ということで、できればお伺いしたいと思います。

○大村虔一会長

事務局、いかがでしょうか。

○折田総合計画課長

今の資料につきましては、これからちょっと取りまとめ等の作業もございますけれども、広聴相談課というところで、本市に寄せられる意見、要望等につきましては取りまとめを行う部署がございますので、そこと相談しながら、なかなか個人情報にかかわる部分は難しいかもしれませんが、可能な限りの資料を調べまして次回の審議会にご提出をさせていただきたいと考えております。

○大村虔一会長

よろしいですか。

ほかに何かございますか。

(3) その他

○大村虔一会長

なければ、この審議会は6時半ぐらいまでやっていいことになっているんですが、早く終わっても構わないですね。その他というのが実は残っています。その他というのは決め

られたことは何もございませんので、皆様から何かその他でご意見がございましょうか。どうぞ。

○間庭洋委員

さっき発言すればよかったのかもしれませんが、市民のアンケート調査の概要版を拝見しますと、全般に評価が高いんですね。これは、開いて右側の③の仙台市の施策評価なんかは全般に満足といいますか、評価するとかしないとかと出ているんですが、②の左側の仙台市の魅力などについては著しく魅力を感じるという答えが全般に多くて、大体5割を超えているのがほとんどですね。

これは大変いいなと思いつつも、課題抽出のためには、満足や評価しているということの尺度も必要なんですけど、満足、満足していないというほかに、さらにもっとこうなってほしいとか、あるいはだめだからもっとこうなってほしいという、総体的なニーズやウォンツってあると思うんですね。そういったふうなものについて、アンケートはもう終わってしまったからいいんですが、これの受けとめ方、解釈って非常に難しいなというふうにひとつ思いました。

ひとつ、この緑色のファイルに財政含めていろんなデータがあるんですが、ちょっと欲しいな、もし可能であればと思うのは、ベンチマークデータみたいなもので、どこと仙台を比較するかというのは非常に大きな議論が必要かもしれませんが、類似しているほんのわずかの都市でもいいですから、仙台がどういうふうなポジションや状況にあるのかということ、データの面からもわかればありがたいな、これ、いずれの機会で結構なんですけれども。

恐らく、政令指定都市のそういうベンチマークデータというのは、既にお持ちの可能性があるので、政令指定都市、全部比較すると大変なので、その中から課題抽出しやすいようなところを選んで、ベンチマークデータを教えていただきますと、この市民の意向アンケートがさらに深く解釈しやすくなるかなというふうに思いましたので、もし可能であれば、事務局にご負担をおかけしますが、そういったものもいずれの機会にご提供いただければ、今後の議論に役立つのではないかなということで、リクエストしたいと思います。

○大村虔一会長

事務局、いかがですか。

○折田総合計画課長

ただいまのご指摘いただきました資料につきましては、政令市との比較ということで、さまざまな分野で比較をしたものを整理いたしまして、次の審議会にご提出をさせていただきたいと考えております。

○大村虔一会長

よろしゅうございますか。

ほかに、今のような話でも結構ですが、その他というようなことで何かございましたらば、どうぞ。

委員の方からなければ、事務局からは何かございますか。

○金集総合計画課主幹

事務局から３点ほどご報告がございます。

ひとつ目は、次回の審議会の日程でございます。先ほど全体日程の説明のときもお示ししておりましたけども、次回、11月20日金曜日になりますけれども午後6時半から、本日と同じこの第一委員会室で開催いたしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。正式な通知文につきましては改めてお送りさせていただきます。

２つ目は、本日の資料でございますけれども、全体としてかなりの分量になってございますので、差し支えがなければこちらは事務局で保管させていただきたいと思っております。自宅用の都市ビジョンを除きまして、そのまま机に置いていただければ、こちらで保管して、次回、お使いいただいたものをまたご用意させていただきます。

それから、３つ目は、お帰りの際の建物の出口なんですけども、既に閉庁時間になっておりますので北側の玄関をお通りいただくことになります。こちらは本庁舎側の1階エレベーター前に職員がおりますので、その職員のお示しする方向へお進みいただきたいと思います。

以上でございます。

9 閉会

○大村虔一会長

ありがとうございます。

何かご質問ございますか。

なければ、それでは、以上をもちまして本日の審議会を終了いたしたいと思っております。

次回は、本日説明を受けた資料等を踏まえて、皆様から問題点や課題について、より突っ込んだご意見をいただきながら審議をしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。